

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「安曇野ふるさと遺産」活用事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野市穂高柏原 1132-2
事業区分	(5) 環境保全・景観形成に関する事業 (6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	990,990 円 (うち支援金 : 742,000 円)

### 事業内容

安曇野市内の文化遺産等の基本調査を行い、ワークショップでの市民の意見等も参考に独自基準を設けて「安曇野ふるさと遺産」として認定し、認定エリアの市民活動団体と協定を締結する。認定した「安曇野ふるさと遺産」は広く市民に PR するとともに、専用サイトやリーフレット等を作成して市民への啓発を行う。また、「安曇野ふるさと遺産」を市民との協働の場として活用し、屋敷林フォーラムやリレーパネル展等で活動内容や事例等を紹介する。



【国営公園パネル展】

### 【目標・ねらい】

- ①文化遺産の現状把握
- ②文化遺産の広報 PR
- ③文化遺産の保全活用
- ④市民ネットワークの構築

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「安曇野ふるさと遺産」をきっかけに、市民団体や行政とのネットワークが広がるとともに、ワークショップ、リレーパネル展示、サイトの拡充、マップ版&冊子班リーフレットの作成等により市民の文化遺産への関心を高めることができました。また、安曇野ふるさと遺産をテーマにした屋敷林フォーラムは無観客で開催し、CATV 放映と動画配信により広く市民に PR できた。

- ・プロジェクト会議 3 回 (延 24 名)
- ・市民参加ワークショップ 2 回 (延 32 名)
- ・基本調査文化遺産 7 候補から 1 地域を認定
- ・協定を締結した市民団体等 1 団体
- ・屋敷林フォーラム CATV 放映、動画配信
- ・リレーパネル展 2 箇所 (約 7 週間)

### ※自己評価 【A】

【理由】 市民主体の文化遺産の保全活用事業としてマスコミにも大きく取り上げられ、屋敷林フォーラムも CATV 等で放映できた。  
また、既存認定エリアの協定団体の活動を支援し、今後に向けた連携を強化することができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

認定エリアの協定団体との連携を深め、継続して調査研究と活動支援等を行うとともに、次年度以降も教育委員会等と連携して「安曇野ふるさと遺産」の認定を継続する。また、3年間の調査研究の成果と「案内人の教室」で培った風景の捉え方と人材育成のノウハウを活かして、次年度より子ども達への探究的な地域学習の支援ツールとして活用する取組みを進め、教育現場において市民活動団体等が継続的に支援できるしくみの構築を目指していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある